

身延山大学仏教学部の平成二八（二〇一六）年一〇月一日から平成二九（二〇一七）年九月三〇日までの活動の一端を紹介します。

○仏教学科

▽浜島典彦 特任教授（学長）

《研究発表》

（単独）「日蓮聖人の布教法について―教化学の観点から―」（第三三回近畿教区勸学院教学研修会、二〇一七年二月一五日）

《シンポジウム・講演等》

「法華経講義」（財法華会、神田学士会館、毎月第二土曜日）

「基調講演 身延山大学建学の精神の実現のために」（平成二八年度身延山大学京都特別公開講座「今なぜ日蓮学か」、日蓮宗本山立

本寺内教法院、二〇一六年二月二日）

「いのちに合掌―組織で動く―」（身延山学園北海道支部同窓会、二〇一七年六月二九日）

「いのちに合掌―私は身延山大学で考えた―」（日蓮宗宗務院金曜講話、日蓮宗宗務院、二〇一七年一〇月六日）

「いのちに合掌―御降誕八〇〇年に向けて―」（管区統一信行大会、広島市市民ホール二〇一七年一〇月一四日）

「いのちに合掌」（京浜教区檀信徒協議会、山梨県小室妙法寺、二〇一七年一〇月三一日）

「唱題行の理念と実践」（山形県宗務所研修会、山形市大宝寺、二〇一七年十一月二日）

《その他》

（単著・連載）「妙法蓮華経のこころ」（『法華』毎月刊、財法華会）

（単著・連載）「唱題正行 日蓮聖人御遺文講義」（『求道』毎月刊、求道同願会）

（単著・連載）「日蓮聖人御遺文解説」（『最上教報』二〇一七年四月号）現在、最上教報社）

（単著）「小林一郎」（『まんだら』所収、二〇一七年七月）

〔单著〕「日蓮が一番、言いたかったこと」〔大法輪〕所収、大法輪閣、二〇一七年八月

〔单著〕「芥川龍之介」〔まんだら〕所収、二〇一七年一〇月

▽池上要靖 教授（副学長）

《著書》

〔編集委員・分担執筆〕『上座仏教事典』（パリー学仏教文化学会上座仏教事典編集委員会編、めこん、二〇一七年一〇月）

《論文》

〔单著〕「仏教の社会的活動評価の基準策定に関する試論」〔印度学仏教学研究〕第六五卷第二号、日本印度学仏教学会、二〇一七年三月

〔单著〕「Kalpaniが意味するもの」〔大崎学報〕第一七三号、立正大学仏教学会、二〇一七年三月

《学会発表》

〔单独〕「仏教社会福祉原論確立に関する試論」（日本仏教社会福祉学会五〇周年記念大会、立正大学、二〇一六年一〇月二日）

《シンポジウム、講演等》

〔初期仏教研究―仏滅年代論・經典の成立―第一回 初期仏教經典の理解〕（法華コモンズ仏教学林二〇一六年度後期、新宿常円寺、二〇一六年一〇月二七日）

〔初期仏教研究―仏滅年代論・經典の成立―第二回 史料価値としての初期經典 パリー語經典の歴史的価値について〕（法華コモンズ仏教学林二〇一六年度後期、新宿常円寺、二〇一六年一月一六日）

〔日蓮宗の声明―身延山流を中心として―〕（平成二八年度身延山大学東京特別公開講座、東京谷中瑞輪寺、二〇一六年一月四日）

〔初期仏教研究―仏滅年代論・經典の成立―第三回 經典成立の過程―記憶から記録へ―〕（法華コモンズ仏教学林二〇一六年度後期、新宿常円寺、二〇一六年二月二二日）

〔初期仏教研究―仏滅年代論・經典の成立―第四回 仏滅年代の記述〕（法華コモンズ仏教学林二〇一六年度後期、新宿常円寺、二〇一七年一月二六日）

「日蓮宗法要式の特徴―他宗との比較から―」（日蓮宗静岡岡中部宗務所声明師会管内研修会、静岡駅ビル パルシェ、二〇一七年二月二二日）

「初期仏教研究―仏滅年代論 經典の成立―第五回 もう一つの仏像建立史」〔法華コモンズ仏教学林二〇一六年度後期、新宿常円寺、二〇一七年二月二三日〕

「初期仏教研究―仏滅年代論 經典の成立―第六回 初期仏教經典は仏説か」〔法華コモンズ仏教学林二〇一六年度後期、新宿常円寺、二〇一七年三月二三日〕

《その他》

「紙上説法 第八八回「知孝玉落（孝を知りて玉落つる）」」（教報『みのぶ』所収、二〇一七年八月）

▽望月真澄 教授（仏教学部長）

《學術論文》

（単著）「日乘上人日記にみられる信仰関係記述」〔印度学仏教学研究〕第六五卷第一号、日本印度学仏教学会、二〇一六年二月）

（単著）「千箇寺詣の信仰関係資料」〔宗教研究〕第九〇巻別冊、日本宗教学会、二〇一七年三月）

《学会発表》

（単独）「近代日蓮伝記絵馬について」（日本宗教学会第七六回学術大会、東京大学、二〇一七年九月一七日）

《調査・出張》

（国内）「堺市立博物館調査」（大阪府堺市、二〇一六年二月九日）

（国内）「本山妙成寺資料調査」（石川県羽咋市、二〇一七年二月一七～一九日）

（国内）「天竜川妙恩寺宝物整理」（静岡県浜松市、二〇一七年三月二日～三日）

（国内）「大阪市内日蓮宗寺院調査」（大阪府大阪市、二〇一七年八月二三～二四日）

（国内）「本隆寺宝物調査」（京都府京都市法華宗真門流総本山本隆寺、二〇一七年八月二五日）

## 《シンポジウム・講演等》

- 「身延山久遠寺の歴史と文化」(山梨県身延町立身延中学一年生対象、身延中学校、二〇一七年二月七日)
- 「身延山久遠寺の歴史と文化」(山梨県身延町立身延中学二年生対象、身延中学校、二〇一七年二月一四日)
- 「日蓮聖人と佐渡―日蓮聖人伝記から探る―」(日蓮宗勸学院北陸教区研修会講演、新潟市ホテルイタリア軒、二〇一七年二月二四日)
- 「四条金吾の人柄と信仰」(山梨県日蓮宗内船寺開山会講話、南部町内船寺、二〇一七年三月二五日)
- 「江戸の法華信仰と法華文化」(日蓮宗勸学院講座講師、日蓮宗務院、二〇一七年五月八日)
- 「江戸の法華信仰」(身延山宝物館・身延山大学図書館合同企画展講演、身延山久遠寺報恩閣、二〇一七年六月一日)
- 「身延道を歩く」(静岡県静岡市清水区由比生涯学習講座・興津耀海寺古文書講座合同研修、身延山内、二〇一七年六月一日)
- 「江戸の文化に学ぶ」(コーデイナーター、「江戸の法華信仰と法華文化」講演、日蓮宗東京都四部宗務所主催、日暮里ラングウッドホテル、二〇一七年六月一日)
- 「もつと知りたい身延山」(新潟県東部檀信徒協議会研修会講演、新潟市ホテルイタリア軒、二〇一七年六月二七日)
- 「富士川舟運と身延道―峡南地域の特徴を文化面から探る―」(山梨県峡南青年会議所主催、富士川町いち柳ホテル、二〇一七年八月一九日)
- 「日蓮聖人の関西遊学」(京都日蓮聖人門下連合主催講演、京都市本能寺会館、二〇一七年八月二六日)
- 「身延山の古文書を読む」(身延山大学附属図書館「身延山学講座」、身延山大学附属図書館、二〇一六年一〇月～二〇一七年二月、計五回講座開催)
- 「古文書を読む「万沢口留番所日記」」(南部町生涯学習講座、山梨県南部町環境改善センター、二〇一六年一〇月～十二月、計五回講座開催)
- 「古文書講座」(静岡市由比生涯学習交流館講座、静岡市清水区由比、計一〇回講座開催)

## 《その他》

(単著)「日蓮聖人降誕伝承」(教誌『正法』第一五一号、日蓮宗新聞社、二〇一七年九月一日)

○日蓮学専攻

▽三輪是法 教授（日蓮学専攻長）

《学会発表》

（共同）「共同研究テーマ 人間とは何か 人間定義の新次元へ―仏教から見る「人間」定義の新次元― 第五セッション・コメント―」(日本佛教学会第八七回学術大会、東北大学、二〇一七年九月五日・六日)

（共同）「パネルディスカッション「日蓮遺文の編纂と刊行」代表・コメントータ・司会」(日本宗教学会第七六回学術大会、東京大学、二〇一七年九月一七日)

《シンポジウム・講演等》

（国内）「日蓮学入門」(平成二八年度身延山大学京都特別公開講座「今なぜ日蓮学か」、日蓮宗本山立本寺内教法院、二〇一六年  
一二月二日)

（海外）「日蓮学講義」(インドネシア・ジャカルタ講義、二〇一七年二月二六日)

（海外）「日蓮学入門」(スリランカ・コロンボ講義、二〇一七年三月五日)

（海外）「観心本尊抄講義第三回」、「法華経入門」(マレーシア・ペナン島一念寺講義、二〇一七年八月三一日・九月一日)

（国内）「近代日本における久遠本仏観」(日蓮宗現代宗教研究所第五〇回中央教化研究会議、日蓮宗宗務院、二〇一七年九月一三日・  
一四日)

《その他》

（連載）「近・現代法華信仰者の足跡」(教誌『正法』二〇一六年夏益号〜二〇一七年秋彼岸号、日蓮宗新聞社)

▽望月海慧 教授（国際日蓮学研究所長）

《著書》

（編著）*Acta Tibetica et Buddhica* 9, Minobu: Minobusan University, 2016. 11.

〔共著〕「釈尊とその家族」(身延山大学仏教学部編『身延山大学教養選書Ⅲ 仏教福祉と家族問題』(山喜房佛書林、二〇一七年三月)《學術論文》)

〔単著〕「Advayavajra no Dīpankarasijñāna」(*Acta Tibetica et Buddhica* 9、身延山大学チベット学研究室、二〇一六年一月)

〔単著〕「Yasubandhu's Commentary on the Lotus Sutra in Tibetan Literature」(『印度学仏教学研究』第六五卷第三号、日本印度学仏教学会、二〇一七年三月)

〔単著〕「チベット語訳『妙法蓮華註』「信解品」和訳」(『大崎学報』第一七三号、立正大学仏教学会、二〇一七年三月)

《学会発表》

〔単独〕「アドヴァアヤヴァジュラとアティシヤ」(第六九回日蓮宗教学研究発表大会、立正大学、二〇一六年一〇月二二日)

〔単独〕「A Commentary on the Lotus Sutra translated from Chinese into Tibetan」(第一四回国際仏教学会、トロント大学、二〇一七年八月二一日)

〔単独〕「Dīpankarasijñāna が伝えるバリ儀軌について」(日本印度学仏教学会第六八回学術大会、花園大学、二〇一七年九月二日)

〔単独〕「アティシヤとラトナーカラシャーンテイ」(日本宗教学会第七六回学術大会、東京大学、二〇一七年九月二七日)

《調査・出張》

〔海外〕「日蓮宗ハーバード大学派遣研究員」(ハーバード大学、プリンストン大学、二〇一七年三月二日～九日)

〔海外〕「マレーシア・ペナン島における日蓮仏教の展開に関する調査」(マレーシア、二〇一七年五月一九～二二日)

〔国内〕「ヴェイクラマシーラ・プロジェクト、仏教学新知識基盤の構築科研合同研究会」(大正大学・東京大学・人文情報学研究所、二〇一七年二月一六日～一八日・六月三日～四日)

〔国内〕「ヴェイクラマシーラ・プロジェクト研究会」(人文情報学研究所、二〇一七年九月一六日～一七日)

《シンポジウム・講演等》

〔国内〕「釈尊とその家族」(平成二八年度身延山大学甲府公開講座「現代社会における家族問題―仏教と福祉の視点より―」・大学コンソーシアムやまなし平成二八年度コミュニティカレッジ地域ベース講座)、山梨学院生涯学習センター、二〇一六年一〇月一六日)

(海外)「法華経研究史」(東国大学校人文韓国(王)) 研究団第二回海外碩学招請講演、大韓民国東国大学校忠武路映像センター  
本館仏教学術院二二七号、二〇一六年一月二五日)

《競争的研究資金》

(研究代表者) 科学研究費基盤研究C「内陸アジアにおける法華経の展開」  
(研究分担者) 科学研究費基盤研究B「密教思想と他の仏教思想との関係性〜ヴィクラマシーラ寺院の学僧の著作群を中心に〜」(研究代表者、久間泰賢、三重大学)

▽木村中一 准教授(国際日蓮学研究所主任)

《著書》

(共著)「日蓮聖人のお手紙に見る家族のあり方」(身延山大学仏教学部編『身延山大学教養選書Ⅲ 仏教福祉と家族問題』(山喜房  
佛書林、二〇一七年三月)

《学術論文》

(単著)「近世日蓮教団の檀林における修学内容についての一考察」(『印度学仏教学研究』第六五卷第三号、日本印度学仏学会、  
二〇一七年三月)

《学会発表》

(単独)「刊本遺文の標記相違に関する一考察」(第六九回日蓮宗教学研究発表大会、立正大学、二〇一六年一〇月二二日)

(共同)「日蓮遺文の編纂と刊行」(日本宗教学会第七六回学術大会、東京大学、二〇一七年九月一七日)

《シンポジウム・講演等》

「日蓮聖人のお手紙に見る家族のあり方」(平成二八年度身延山大学甲府公開講座「現代社会における家族問題―仏教と福祉の視点より―」・大学コンソーシアムやまなし平成二八年度コミュニティ・カレッジ地域ベース講座)、山梨学院生涯学習センター、  
二〇一六年十一月二三日)

「日蓮聖人のお手紙をよむ」(平成二八年度身延山大学京都特別公開講座「今なぜ日蓮学か」、日蓮宗本山立本寺内教法院、二〇一六

年二月二日)

「法縁の源流と展開―近世日蓮教団の檀林における修学内容を中心に―」(福井県中部宗務所研修会、福井妙長寺、二〇一七年二月)  
 《その他》

(連載)「日蓮聖人伝」(『あんのん』所収、長崎熊本教化センター、二〇一二年四月〜現在)

(連載)「日蓮聖人傳絵巻」にみる日蓮聖人の御生涯」(教報『みのぶ』所収、身延教報社、二〇一六年一〇月〜現在)

▽金 炳坤 准教授

《著書》

(共編)『身延山大学教養選書Ⅲ 仏教福祉と家族問題』(山喜房佛書林、二〇一七年三月)

(分担執筆)「二一・二二 菩薩戒本持犯要記」、「五九 妙法蓮華経論子注」(神奈川県立金沢文庫編『特別展 アンニョンハセヨ！

元暁法師―日本がみつけた新羅・高麗仏教―』神奈川県立金沢文庫、二〇一七年六月)

《学術論文》

(单著)「身延山大学東洋文化研究所所報 総目次 一九九七―二〇一五」(『東洋文化研究所所報』第二〇号、身延山大学東洋文化研究所、二〇一六年四月)

(单著)「『三平等義』の成立に関する研究」(『身延山大学仏教学部紀要』第一七号、身延山大学仏教学部、二〇一六年一〇月)

(单著)「身延山の海東仏教関連資料について」(『印度学仏教学研究』第六五巻第一号、日本印度学仏学会、二〇一六年十二月)

(单著)「流布本『妙法蓮華経優波提舍』考」(『宗教研究』第九〇巻別冊、日本宗教学会、二〇一七年三月)

(单著)「最澄と『妙法蓮華経論子注』」(神奈川県立金沢文庫・東国大仏教文化研究院HK研究団編『元暁生誕一四〇〇年記念共同学術大会 元暁と新羅仏教写本』神奈川県立金沢文庫・東国大仏教文化研究院HK研究団、二〇一七年六月)

《翻訳》

(单独)朴妯娟「義寂と憬興の『法華経』一乗解釈について」(『東洋文化研究所所報』第二〇号、身延山大学東洋文化研究所、二〇一六年四月)



(単独)「特別展に際して」、「九 菩薩戒本宗要鈔」、「一〇 菩薩戒本宗要抄」、「一五 判比量論」、「一九 二障義」、「二一・二二 菩薩戒本持犯要記」、「二三 起信論別記」、「三五 華嚴経問答」、「四一 大覚国師文集」、「四四 円宗文類集解」、「四九・五〇 華嚴文義要決問答」、「五三 梵網経菩薩戒本疏」、「五四 華嚴一乗成仏妙義」、「五九 妙法蓮華経論子注」(神奈川県立金沢文庫 編『特別展 アンニョンハセヨ!元暁法師―日本がみつけた新羅・高麗仏教―』神奈川県立金沢文庫、二〇一七年六月)

#### 《論評》

菅野博史「パネルの主旨とまとめ(東アジア仏教と『法華経』)」(『宗教研究』第八九巻別冊、日本宗教学会、二〇一六年三月)

#### 《研究協力》

望月海慧「チベット語訳『妙法蓮華註』「信解品」和訳」(『大崎学報』第一七三号、立正大学仏教学会、二〇一七年三月)

#### 《学会発表》

(単独)「身延山の海東仏教関連資料について」(第六九回日蓮宗教学研究発表大会、立正大学(品川キャンパス)、二〇一六年一月二二日)

(単独)「最澄と『妙法蓮華経論子注』」(神奈川県立金沢文庫・東国大学校仏教文化研究院HK研究団主催、元暁生誕一四〇〇年記念共同学術大会 元暁と新羅仏教写本、金沢文庫大会議室、二〇一七年六月二四日)

(単独)「『三平等義』所引の「注云」について」(日本印度学仏教学会第六八回学術大会、花園大学、二〇一七年九月二日)

(単独)「『菩薩戒本持犯要記』の日本的展開」(日本宗教学会第七六回学術大会、東京大学(本郷キャンパス)、二〇一七年九月一六日)

#### 《通訳担当》

「第六回 日・韓・中 国際仏教学術大会―東アジアにおける禅仏教の思想と意義―」(日本) 東洋大学東洋学研究所・国際禅研究プロジェクト、(韓国) 金剛大学校仏教文化研究所、(中国) 中国人民大学仏教与宗教学理論研究所共催、東洋大学白山キャンパス、二〇一七年七月一日〜二日)

○仏教芸術専攻

▽長又高夫 教授（仏教芸術専攻長・附属図書館長）

《学会発表》

「北条泰時の法解釈―因准と折中―」（第一八五回法史学研究会、明治大学駿河台校舎、二〇一七年五月二六日）

《その他》

「文化論からみた日本人の付度」（FM甲府ラジオ出演「生涯学習の時間」、二一時～二一時三〇分、二〇一七年九月一九日）

▽間宮啓壬 教授

《学術論文》

（単著）「『死後法華誦経譚』の意味―『法華経』との一体化―」（『宗教研究』第九〇巻別冊、日本宗教学会、二〇一七年三月）

《学会発表》

（単独）「日蓮における地涌・上行自覚をめぐる論争―論点整理―」（印度学宗教学会第五九回学術大会、東北大学川内南キャンパス、

二〇一七年五月二八日）

（単独）「日蓮における地涌・上行菩薩の自覚をめぐって」（日本宗教学会第七六回学術大会、東京大学本郷キャンパス、二〇一七年

九月一七日）

《シンポジウム・講演等》

「法華経の心―如来使たれ！―（第三回）」（二〇一七年度日蓮宗富山県宗務所教師・寺庭婦人研修会、高岡市ウィングウィング、

二〇一七年七月二二日）

▽柳本伊左雄 特任教授

特になし

▽ジル・エマ・ストロースマン 特任教授

《学術論文》

(共著) 「2015-2016 Lao PDR Traditional Cement Research」(『身延論叢』第二二号、身延山大学仏教学会、二〇一七年三月)

○福祉学専攻(福祉学科)

▽伊東久実 教授(福祉学専攻長)

《学術論文》

(単著) 「図書館における日本語支援活動の現状と可能性」(『身延山大学仏教学部紀要』第一八号、身延山大学仏教学部、二〇一七年一月)

《学会発表》

(単独) 「子育て支援活動が学生にもたらす学びの循環」(日本ホリスティック教育協会二〇周年記念フォーラム、大阪府立大学 Life なんば、二〇一七年六月一日)

《シンポジウム・講演等》

「子どもの自分づくりと親のかかわり」(大野山保育園保護者学習会、大野山保育園、二〇一六年二月一六日)

「三世代交流ひなまつり会」(南部町社会福祉協議会、南部町社会福祉協議会、二〇一七年二月二四日)

「親になるということ」(平成二九年度身延山大学身延公開講座「いまを生きる」、身延山大学・身延町教育委員会共催、キャンパス ネット山梨連携講座、身延町総合文化会館、二〇一七年七月八日)

「共感をベースにした子育て支援」(市川三郷町保育士会研修会、市川三郷町役場本庁舎、二〇一七年九月二日)

▽田沼 朗 教授

《著書》

(共編著) 『子ども白書二〇一七 改憲は子どもに何をもたらすか―児童憲章の再発見―』(本の泉社、二〇一七年八月)

(分担執筆)「子どもと学校、この一年 教育勅語の復活?—どこへ向う日本の学校—」(前掲書所収)

《學術論文》

(単著)「義務教育無償化を目指す自治体の取組み—京都府・伊根町の場合—」(『身延山大学仏教学部紀要』第一七号、身延山大学 仏教学部、二〇一六年一〇月)

《学会発表》

(単独)「学校づくり分科会基調報告」(第五六回教育科学研究会全国大会、滋賀県近江八幡市近江兄弟社高等学校、二〇一七年八月 一日)

▽北村愛子 特任教授

《学会発表》

(共同)「介護老人福祉施設における介護職員のストレス—日常の介護業務を通して—」(第九回生活支援学会、新潟ユニゾンブラザ、二〇一七年四月一五日)

《シンポジウム・講演等》

「聴き上手になろう—基礎編—」(ピアサポーター養成研修会、山梨県難病・相談支援センター、二〇一七年七月二〇日)

「聴き上手になろう—実践編—」(ピアサポーター養成研修会、山梨県難病・相談支援センター、二〇一七年七月二五日)

▽榎木博之 准教授 (国際日蓮学研究所副主任)

《學術論文》

(単著)「身延山大学における福祉専門職教育の効果—就職先での聞き取り調査から見えてきたこと—」(『身延山大学仏教学部紀要』

第一七号、身延山大学仏教学部、二〇一六年一〇月)

《学会発表等》

(代表)「地域に開かれた大学を目指して—身延山大学における地域福祉活動の取り組み—」(第八回みのぶボランティアの集い、身

延町中富総合会館、二〇一七年二月四日)

〔単独〕「地域包括ケアシステムにおける認知症カフェの役割」(身延山大学・金剛大学校学術交流研究発表会、身延山大学、二〇一七年二月一六日)

〔単独〕「介護支援専門員更新研修三ヶ月後評価から見た研修効果」(日本ケアマネジメント学会第一六回研究大会、名古屋国際会議場、二〇一七年六月一五日)

〔代表〕「仏教系大学における地域福祉活動の意義―認知症カフェを立ち上げて―」(日本仏教社会福祉学会、種智院大学、二〇一七年九月一〇日)

#### 《シンポジウム・講演等》

「認知症高齢者を支えるために高校生ができること 認知症サポーター養成講座」(山梨県立峡南高校福祉講演会、山梨県立峡南高等学校、二〇一六年一〇月一二日)

「ICFとアセスメント」(三島市地域ケア会議研修、三島市生涯学習センター、二〇一六年一〇月一七日)

「現代社会における福祉の役割―私たちに何が出来るのか―」(社会福祉法人春風会職員研修、あしたかホーム、二〇一六年一〇月二四日)

「介護支援専門員が知っておきたい面接技法について」(伊豆市ケアマネジャー協議会、修善寺生いきプラザ、二〇一六年一一月一五日)

「実践研究の意義 研究とは何か」(静岡県社会福祉士会実践研究セミナー、シズウェル、二〇一六年一一月二〇日)

「利用者の望む暮らしの実現に向けたケアプランの書き方」(御殿場・小山介護支援専門員基礎研修、御殿場市民会館、二〇一六年一一月二一日)

「個人スーパービジョンについて」(御殿場市主任介護支援専門員研修、御殿場市役所、二〇一六年一二月五日)

「ケアマネジメントプロセスにおけるアセスメント」(かなおか圏域介護支援専門員研修、サンウェル沼津、二〇一六年一二月一二日)

「現代社会における福祉の役割―社会福祉法人としてできること―」(社会福祉法人春風会職員研修、あしたかホーム、二〇一六年一二月一九日)

「よっちゃばれソーシャルワーカー塾」(山梨県社会福祉士会宿泊研修、石和温泉・ホテル新光、二〇一七年一月二八日・二九日)  
 「チームアプローチの意義とサービス担当者会議の方法」(御殿場・小山介護支援専門員基礎研修、御殿場市民会館、二〇一七年一月一七日)

「介護支援専門員の価値と倫理―何故、自己覚知が必要なのか?―」(伊東市主任介護支援専門員・居宅介護支援専門員GSV研修、伊東市役所、二〇一七年一月三二日)

「実践報告の方法を学ぼう!」(第五回静岡県ソーシャルワーク実践研究会、シズウエル、二〇一七年二月二日)

「サービス担当者会議の意義及び進め方」(静岡県介護支援専門員実務研修、グランシップ、二〇一七年二月三日)

「実践研究発表の方法」(静岡県社会福祉士会基礎研修Ⅱ、シズウエル、二〇一七年二月二五日)

「実習スーパービジョンの実際」(山梨県社会福祉士会実習指導者フォローアップ研修、山梨県立大学、二〇一七年三月五日)

「事例検討とグループスーパービジョン」(御殿場市主任介護支援専門員研修、御殿場市役所、二〇一七年三月六日)

「介護支援専門員の価値と倫理―何故、自己覚知が必要なのか?―」(沼津市介護支援専門員研修、サンウエル、二〇一七年三月一八日)

「介護支援専門員の価値と倫理―スーパービジョンを行う前に―」(富士市包括支援センター介護支援専門員研修、富士駅南まちづくりセンター、二〇一七年四月一八日)

「これからの地域包括ケアシステムと介護支援専門員の役割」(沼津市介護支援専門員研修、サンウエル沼津、二〇一七年五月二八日)

「身延山大学における地域福祉活動―バリアフリーマップ作成から認知症カフェ立ち上げまで―」(身延山大学保護者会講演会、身延山大学図書館、二〇一七年六月六日)

「介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開」(静岡県介護支援専門員専門研修Ⅱ、グランシップ、二〇一七年六月二〇日・九月二八日)

「事例検討とは」(富士市包括支援センター介護支援専門員研修、富士駅南まちづくりセンター、二〇一七年六月一九日)

「ケアマネジメントのプロセスにおける法令遵守と具体的内容」(介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状)(静岡県介護支援専門員専門研修Ⅰ、グランシップ、二〇一七年六月二〇日)

「高齢者の心の特徴と接し方のポイント」(御殿場市介護予防リーダー養成講座、御殿場市民交流センター、二〇一七年六月二七日)

「ケアプランと個別サービス計画の連動について」（御殿場市介護保険サービス事業者研修、御殿場市民交流センター、二〇一七年六月二七日）

「認定社会福祉士特別研修集合研修Ⅰ」（日本社会福祉士会、福岡市チクモクビル、二〇一七年七月一日・二日・九月一七日）

「模擬事例で地域課題を考える」（かなおか圏域介護支援専門員研修、サンウエル沼津、二〇一七年七月一〇日）

「いまを生きるといふこと」（平成二九年度身延山大学身延公開講座「いまを生きる」、身延山大学・身延町教育委員会共催、キャンパスネット山梨連携講座、身延町総合文化会館、二〇一七年七月二二日）

「ソーシャルワーカーの役割」（静岡県ソーシャルワーカーデー、シズウェル、二〇一七年七月一七日）

「医療ソーシャルワーカーの専門性」（静岡県医療ソーシャルワーカー協会初任者研修、二〇一七年七月二三日）

「社会福祉士基礎研修Ⅱ」（山梨県社会福祉士会、玉穂総合会館、二〇一七年七月二九日）

「ケアマネジメントプロセスにおけるアセスメント」（沼津市介護支援専門員研修、サンウエル沼津、二〇一七年八月八日）

「スーパービジョンについて」（富士市包括支援センター介護支援専門員研修、富士駅南まちづくりセンター、二〇一七年八月二二日）

「介護保険制度から地域包括ケアへの変遷―ソーシャルワークの視点を入れて―」（はら包括圏域内「ケアプラン指導事業」、はら地区センター、二〇一七年八月二三日）

「あなたならどうする？―ケアマネジャーの業務範囲―」（伊豆市主任介護支援専門員勉強会、修善寺生きいきプラザ、二〇一七年八月二四日）

「対人援助技術のためのコミュニケーション技術」（清水区介護支援専門員研修、はーとびあ清水、二〇一七年八月二八日）

「初めて出会う方へのコミュニケーション方法」（身延高校高大連携授業、山梨県立身延高校、二〇一七年九月二九日）

「高齢者の思いに寄り添うケアについて考える」（しもべ荘職員研修、特別養護老人ホームしもべ荘、二〇一七年八月二九日）

「対人個別援助技術及び地域援助技術」、「入退院時等における医療との連携に関する事例」（静岡県介護支援専門員専門研修Ⅰ、シズウェル、二〇一七年八月三〇日）

「個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習」（静岡県介護支援専門員専門研修Ⅰ、シズウェル、二〇一七年八月三一日）

「対人援助技術のための面接技術」（清水区介護支援専門員研修、はーとびあ清水、二〇一七年九月八日）

「ファシリテーションについて」（御殿場市主任介護支援専門員研修、御殿場市役所、二〇一七年九月一日）

「介護保険法とケアマネジメントの実践について」（山梨県キャリア形成技術指導研修、身延山大学、二〇一七年九月二三日）

「チームアプローチの意義とサービス担当者会議の方法」（沼津市介護支援専門員研修、サンウェル沼津、二〇一七年九月二日）

「模擬地域ケア会議と介護支援専門員の役割」（浜松市西区地域演習事業、浜松市西区役所、二〇一七年九月二五日）

「西伊豆町介護支援専門員研修」（西伊豆町地域包括支援センター、西伊豆町役場、二〇一六年十一月七日・二〇一七年三月二日・

五月二日・九月一四日）

「二〇一六年度外国人介護福祉士候補者学習支援事業 講師」（東京・大阪会場、二〇一七年一月一日・二六日、二三日・二四日、

七月三〇日・三一日、八月五日・六日）

「実習スーパービジョン論」（静岡県社会福祉士会実習指導者講習会、静岡県総合社会福祉会館、二〇一七年二月一日、山梨県社会福祉士実習指導者講習会、山梨県立大学、二〇一七年七月九日）

「社会福祉士会基礎研修Ⅲ 実践評価・実践研究科目Ⅰ」（静岡県社会福祉士会、静岡県総合社会福祉会館シズウェル、二〇一七年

五月二四日・六月二九日・八月二六日）

### 《その他》

（単著）「オレンジカフェの意義と課題―何故、学生たちが行うのか―」（『月刊福祉』六月号、全国社会福祉協議会、二〇一七年六月）

### ▽村瀬正光 特任准教授

#### 《シンポジウム・講演等》

「病になるということ」（平成二九年度身延山大学身延公開講座「いまを生きる」、身延山大学・身延町教育委員会共催、キャンパス ネット山梨連携講座、身延町総合文化会館、二〇一七年七月二日）

### ▽中野一茂 特任講師



《著書》

〔共著〕「看取り―施設で亡くなるということ―」（身延山大学仏教学部編『身延山大学教養選書Ⅲ 仏教福祉と家族問題』）（山喜房佛書林、二〇一七年三月）

《シンポジウム・講演等》

「看取り―施設で亡くなるということ―」（平成二八年度身延山大学甲府公開講座「現代社会における家族問題―仏教と福祉の視点より―」・大学コンソーシアムやまなし平成二八年度コミュニティ・カレッジ地域ベース講座）、山梨学院生涯学習センター、二〇一六年一〇月二二日）

▽黒澤あゆみ 特任講師

《著書》

〔分担執筆〕「小学校低学年時の不安―母親のそばを離れることに抵抗を示す小学生女兒―」（青木紀久代・野村俊明編『これからの対人援助を考える くらしの中の心理臨床④ 不安』福村出版、二〇一七年七月）

《学術論文》

〔共著〕「初任小学校スクールカウンセラーがとらえる学校資源―勤務校の規模に着目して―」（『コミュニティ心理学研究』第二〇巻第二号、日本コミュニティ心理学会、二〇一七年二月）

《シンポジウム・講演等》

「おたがいの長所を見つけ合おう―いつもとちがうポイントで見ると?―」（富士川町立鯉沢小学校心の健康講演会、富士川町立鯉沢小学校、二〇一六年一〇月二〇日）

「学びと実践のスズメ―大学で充実した生活を送るために―」（平成二九年度身延山大学学園講座、身延山大学、二〇一七年四月七日）  
「児童・生徒のメンタルケアにおける学校・地域の役割」（平成二九年度峡南地区教育委員会連合会定期総会講演会、下部地区公民館、二〇一七年四月二七日）

「大人になるということ」（平成二九年度身延山大学身延公開講座「いまを生きる」、身延山大学・身延町教育委員会共催、キャンパ

スネット山梨連携講座、身延町総合文化会館、二〇一七年六月一七日)

▽望月香代 特任講師

《著書》

(分担執筆)「聴覚障害の心理とその支援―現場の声四―」(柿澤敏文編集『障害者心理学(シリーズ心理学と仕事15)』北大路書房、二〇一七年七月)

《学会発表》

(共同)「読み取り通訳を分析」(第五回日本手話通訳学会、武庫川女子大学、二〇一七年六月二四日)

▽佐々木さち子 特任講師

《学会発表》

「介護老人福祉施設における介護職のストレス」(日本生活支援学会二〇一七年度総会及び第九回全国大会、新潟ユニゾンプラザ、二〇一七年四月一五日)

《シンポジウム・講演等》

「家族介護の問題―いつまでも住み慣れた家で暮らすには―」(平成二八年度身延山大学甲府公開講座「現代社会における家族問題―仏教と福祉の視点より―」・大学コンソーシアムやまなし平成二八年度コミュニケーション・カレッジ地域ベース講座)、山梨学院生涯学習センター、二〇一六年一〇月一日)

「腰を痛めない家庭での介護」(甲府生涯学習推進事業 学びの庵 甲府市教育委員会、遊亀公民館、二〇一六年一〇月二〇日)

「介護分野講座 介護全般の講義と演習」(千葉県生涯大学校京葉学園、二〇一七年五月一八日・二五日)

「ここからだのしくみ理論と実践」(キャリア形成技術指導事業研修 主催山梨県社会福祉協議会、身延山大学、二〇一七年九月一三日)

▽富山美由紀 特任講師

特になし

○二〇一六年仏教学部卒業論文論題及び指導教員

▽仏教学科（計二一名）

角田 悠

四条門流の成立と分立

影山翔平

大黒天の制作

伊久美龍堅

鬼子母神について

池田優季名

普賢菩薩像制作

加藤孝零

日蓮聖人の佐渡における教化

上撫一輝

日蓮聖人の生涯と思想の変遷

詫間殊光

日像上人の京都弘通

樋口湛清

過疎地域における寺院の現状と今後

松木泰慎

日本における大黒天信仰の展開

望月英大

鬼子母神の製作過程について

吉川如兼

戦国期における仏教勢力と戦国大名

綿谷即信

戦国大名と寺院

望月良英

日本における差別の諸相

吉木法軌

近代における仏教社会福祉事業と思想

（合計二一名）

木村中一

柳本伊左雄

柳本伊左雄

柳本伊左雄

三輪是法

間宮啓壬

望月真澄

間宮啓壬

望月真澄

柳本伊左雄

望月真澄

望月真澄

三輪是法

三輪是法

川村晃仁

現代社会における葬儀と墓の変化と需要

間宮啓士

林田三郎

薬師如来

柳本伊左雄

山本伸一

一念三千の研究

三輪是法

鶏内篤史

日蓮聖人四大法難に関する一考察―史実と伝承に関する考察を中心に―

木村中一

内藤瑛慈

日蓮聖人の鳩摩羅什観

金 炳坤

二宮英夫

江戸中期後期の民間信仰―木喰行道を中心に―

望月真澄

森 法實

ロシアの仏教

望月海慧

▽福祉学科(計二一名)

小林大悟

セラピーについて―音楽療法を中心に―

中野一茂

小林千夏

介護旅行の実態と効果

榎木博之

堂前美智

日本における人身取引の現状と問題点―性的目的の人身取引を中心に―

長又高夫

内藤一樹

高齢者施設における虐待防止に関する研究

榎木博之

望月結女

若年性認知症の現状と課題

中野一茂

岩尾幸子

大学生におけるうわさの伝播について―うわさは何故なくなるらないのか―

榎木博之

笠井寛成

手あそび歌の種類とアレンジの工夫

伊東久実

櫻井 楓

病棟保育における保育士の役割

中野一茂

村松亜耶

ナンセンス絵本の制作

伊東久実

宗川祥子

高齢者の生活破壊の現状と課題

田沼 朗

宮澤由希

知的障害者の将来の思いに関する研究―本人への面接調査から見えてきたこと―

榎木博之

(合計三二名)

▽編集委員・編集協力

榎木博之(編集委員)、金 炳坤・ジル・エマ・ストロースマン(編集協力)